

平成15年度第1回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

1 日時 平成15年7月10日(木)13:30～15:00

2 場所 岡山市役所本庁舎 3階 第3会議室

3 出席者 別紙委員名簿を参照(11名出席)

4 傍聴者 3人

5 会議の概要

・乳幼児医療費助成制度の概要及び岡山市の財政状況、並びに岡山市子育てアクションプラン(仮称)を説明し、それに対してご質問・ご意見をいただいた。

6 主要な質問・意見

・乳幼児医療費助成制度のあり方について
答申を出すのは、早いほうが良い。

財政状況はきびしくても、子育て事業については緊急性・必要性が高いので、財政状況に制約されず、こうあってほしいというものをめざして検討していくべき。

・子育てアクションプラン(仮称)策定について

財政状況はきびしくても、子育て事業については緊急性・必要性が高いので、財政状況に制約されず、こうあってほしいというものをめざして検討していくべき。

中学生の保護者に対するニーズ調査も、何らかの方法で行って欲しい。

新たなサポート体制も大切だが、既存のサポートがどういう働きをしているかの見直し・精査が必要。

子育て関連の総合相談窓口の設置を望むが、すぐには難しいと思われる。そこで、ホームページ上だけでも子育て関連の情報を整理して、すぐに検索できるようにしてはどうか。

子育てに不安を持つ人が増えている現代では、「子育ては楽しい」という視点からプラス思考の支援が必要。